



## 2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月13日

上場会社名 エステールホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 7872 URL <http://www.estelle.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 河合 瑞人

TEL 03-5777-5120

定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日

2019年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	32,504	0.6	1,370	11.3	1,343	12.1	686	16.9
2018年3月期	32,686	0.3	1,545	13.5	1,528	18.3	827	89.4

(注) 包括利益 2019年3月期 658百万円 (25.4%) 2018年3月期 883百万円 (75.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	64.49		5.1	4.0	4.2
2018年3月期	75.49		6.2	4.6	4.7

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	33,670	13,731	40.6	1,287.06
2018年3月期	33,141	13,544	40.7	1,247.56

(参考) 自己資本 2019年3月期 13,678百万円 2018年3月期 13,481百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,508	644	147	8,387
2018年3月期	1,755	1,294	768	7,677

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		30.00	30.00	324	39.7	2.4
2019年3月期		0.00		27.00	27.00	286	41.9	2.1
2020年3月期(予想)		0.00		27.00	27.00		41.6	

(注) 2018年3月期の期末配当は、株式会社化60周年の記念配当3円を含んでおります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,430	3.3	1,395	1.8	1,365	1.6	690	0.4	64.92

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	11,459,223 株	2018年3月期	11,459,223 株
期末自己株式数	2019年3月期	831,283 株	2018年3月期	652,558 株
期中平均株式数	2019年3月期	10,651,015 株	2018年3月期	10,955,664 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	20,840	23.9	1,067	28.8	1,065	30.3	574	40.5
2018年3月期	27,393	1.1	1,498	0.9	1,528	1.6	965	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	53.90	
2018年3月期	88.12	

(注)当社は、2018年10月1日より持株会社体制へ移行し、宝飾品・アクセサリーの店舗小売事業を新たに設立したAs-meエステール株式会社(2018年10月1日付で株式会社As-meエステール準備会社から商号変更)に承継いたしましたので、2018年10月1日からの営業収益は、主としてAs-meエステール株式会社への商品卸売の売上高となります。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	30,793	12,958	42.1	1,219.32
2018年3月期	32,432	12,881	39.7	1,192.04

(参考) 自己資本 2019年3月期 12,958百万円 2018年3月期 12,881百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### (当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、国内の企業業績は引き続き堅調に推移し、雇用環境においても引き締まった状態が継続しましたが、年度後半では、米中の貿易摩擦の深刻化に起因して中国経済は減速し、生産設備など資本財の中国への輸出減少が見られるなど、景気先行については不透明感を強めました。また、個人消費は、物価上昇への警戒感から低価格志向が強まるなど、停滞しました。

当連結会計年度の業績は、売上高は、前年度8月に開始した食品販売・飲食店事業の寄与がありましたが、宝飾品事業における不採算店舗の圧縮により、325億4百万円（前年同期比0.6%減）となりました。営業利益は、食品販売・飲食店事業で店舗数の拡大などで販売費が先行しているため13億70百万円（前年同期比11.3%減）となり、経常利益は13億43百万円（前年同期比12.1%減）となりました。親会社株主に帰属する純利益は、税金費用の増加などにより、6億86百万円（前年同期比16.9%減）となりました。

なお、当期における当社グループの主な店舗展開は以下のとおりです。

事業セグメント	宝飾品	眼鏡	食品販売・飲食店
会社名	As-meエステール(株)	キンバレー(株)	ヴィレッジヴァンガード プレース(株)
前期末店舗数	404	60	24
新規出店	13	3	9
閉店	△37	△4	△3
当期末店舗数	380	59	30

(注) 当社は、2018年10月1日付で会社分割により宝飾品・アクセサリーの販売その他これらに関連する事業を、当社の100%子会社である株式会社As-meエステール準備会社に承継し、持株会社体制に移行しました。同日、当社は、商号をAs-meエステール株式会社からエステールホールディングス株式会社に変更し、株式会社As-meエステール準備会社は、商号をAs-meエステール株式会社に変更しました。これにより、2018年10月1日以後の上記の宝飾品セグメントにおける店舗は、当社の子会社であるAs-meエステール株式会社に所属しております。

#### (次期の見通し)

次期の我が国経済につきましては、各国の通商政策や世界経済の動向、地政学的リスク等による影響が懸念されるものの、緩やかな景気回復が続くものと見込まれます。しかし、本年10月に予定されている消費税率の引き上げによる消費マインドへの影響などから、引き続き盛り上がり欠ける展開が予想されます。

宝飾品業界においても、選別的消費の傾向の進行や業界内での競争激化に加え、持続的な成長を支える人材確保など、当社を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続くものと思われま。

このような環境の下、当社は多様化するお客様ニーズに対して、アクセサリーからジュエリーまでの魅力的な商品展開を強化し、お客様から信頼される販売政策、店舗運営に取り組みむとともに、引き続き店舗のスクラップ・アンド・ビルドや既存店のリニューアルの強化を行い、利益率の改善に取り組んでまいります。また、眼鏡事業や食品販売・飲食店事業につきましても、当社グループの事業の柱となる様、企業体質や収益力の強化を進めてまいります。

次期の通期連結業績予想につきましては、売上高314億30百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益13億95百万円（同1.8%増）、経常利益13億65百万円（同1.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益6億90百万円（同0.4%増）を見込んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末の331億41百万円より5億28百万円増加し、336億70百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加7億76百万円と、敷金及び保証金の回収などによる減少1億87百万円です。

負債合計は、前連結会計年度末の195億97百万円より3億42百万円増加し、199億39百万円となりました。主な増減は、1年内返済予定の長期借入金の増加2億29百万円、未払法人税等の増加1億44百万円及び長期借入金の増加97百万円と、支払手形及び買掛金の減少1億26百万円です。

純資産合計は、前連結会計年度末の135億44百万円より1億86百万円増加し、137億31百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の親会社株主に帰属する当期純利益6億86百万円の増加及び配当金の支払3億24百万円の減少と、自己株式の取得による減少1億48百万円です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末の76億77百万円より7億9百万円増加し、83億87百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは15億8百万円のプラス（前年同期は17億55百万円のプラス）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益11億97百万円、減価償却費5億89百万円及び減損損失1億52百万円の資金増加と、法人税等の支払額4億45百万円及び仕入債務の減少1億3百万円の資金減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは6億44百万円のマイナス（前年同期は12億94百万円のマイナス）となりました。これは主に敷金保証金の回収4億14百万円の収入と、固定資産の取得7億34百万円、敷金保証金の差入1億35百万円及び投資その他の資産などその他94百万円の支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動におけるキャッシュ・フローは1億47百万円のマイナス（前年同期は7億68百万円のマイナス）となりました。これは主に長期借入金の増加3億27百万円（純額）の収入と、配当金の支払3億24百万円及び自己株式の取得1億48百万円の支出によるものであります。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社における利益配分につきましては、経営の重要課題の一つとして位置付け、株主を含む当社の様々な利害関係者に対しましても、業績又は成果に裏付けられた成果の配分を行うことを基本としております。従って、利益配当につきましても、これを基本とし、また今後の事業展開を十分に勘案し、内部留保とのバランスを考慮しつつ安定した配当を心がけてゆきたいと考えております。

当期の配当につきましては、上記の基本方針と、当期の業績及び現在の財務状況等を総合的に勘案し、現時点では、1株当たりの普通配当27円を予定しております。

次期の配当につきましては、現時点では、1株当たり27円の期末配当を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、当社グループの事業の地域性及び当社の株主構成並びに同業他社との比較可能性の観点から日本基準を適用することとしております。

なお、今後につきましては、これら諸条件の推移を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めてゆく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,677	8,453
受取手形及び売掛金	2,744	2,705
商品及び製品	9,960	9,585
仕掛品	1,509	1,682
原材料及び貯蔵品	2,350	2,529
その他	221	178
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	24,461	25,134
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,080	4,215
減価償却累計額	△2,333	△2,376
建物及び構築物 (純額)	1,746	1,838
工具、器具及び備品	3,252	1,398
減価償却累計額	△2,509	△761
工具、器具及び備品 (純額)	743	636
土地	31	31
その他	278	263
減価償却累計額	△209	△198
その他 (純額)	68	64
有形固定資産合計	2,589	2,570
無形固定資産		
のれん	241	185
その他	199	223
無形固定資産合計	440	409
投資その他の資産		
投資有価証券	286	281
関係会社株式	26	26
繰延税金資産	783	882
敷金及び保証金	3,235	3,047
賃貸土地	53	53
その他	1,264	1,265
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	5,649	5,556
固定資産合計	8,679	8,536
資産合計	33,141	33,670

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,465	4,339
1年内返済予定の長期借入金	3,561	3,790
未払金	1,342	1,296
未払法人税等	277	422
賞与引当金	481	498
その他	998	1,085
流動負債合計	11,126	11,433
固定負債		
長期借入金	6,102	6,200
役員退職慰労引当金	584	622
退職給付に係る負債	1,673	1,595
資産除去債務	101	83
事業損失引当金	-	3
その他	7	-
固定負債合計	8,470	8,505
負債合計	19,597	19,939
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	8,885	9,248
自己株式	△421	△570
株主資本合計	13,419	13,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	43
為替換算調整勘定	△17	△25
退職給付に係る調整累計額	33	26
その他の包括利益累計額合計	62	44
非支配株主持分	62	52
純資産合計	13,544	13,731
負債純資産合計	33,141	33,670

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	32,686	32,504
売上原価	12,217	12,479
売上総利益	20,469	20,024
販売費及び一般管理費	18,924	18,654
営業利益	1,545	1,370
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	4	6
不動産賃貸料	4	3
受取手数料	34	34
その他	33	23
営業外収益合計	77	69
営業外費用		
支払利息	51	41
為替差損	18	24
その他	22	31
営業外費用合計	93	96
経常利益	1,528	1,343
特別利益		
固定資産売却益	14	0
投資有価証券売却益	—	4
受取補償金	8	17
工事負担金等受入額	13	—
特別利益合計	36	23
特別損失		
固定資産除売却損	0	—
減損損失	173	152
店舗閉鎖損失	4	13
災害による損失	103	—
事業損失引当金繰入額	—	3
特別損失合計	281	168
税金等調整前当期純利益	1,283	1,197
法人税、住民税及び事業税	511	617
法人税等調整額	△53	△96
法人税等合計	457	521
当期純利益	826	676
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△1	△10
親会社株主に帰属する当期純利益	827	686



(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	826	676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△2
為替換算調整勘定	35	△8
退職給付に係る調整額	23	△6
その他の包括利益合計	57	△17
包括利益	883	658
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	884	669
非支配株主に係る包括利益	△1	△10

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,571	3,384	8,456	△146	13,265
当期変動額					
剰余金の配当			△267		△267
親会社株主に帰属する 当期純利益			827		827
連結範囲の変動			△130		△130
自己株式の取得				△274	△274
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	429	△274	154
当期末残高	1,571	3,384	8,885	△421	13,419

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	48	△52	9	4	—	13,270
当期変動額						
剰余金の配当						△267
親会社株主に帰属する 当期純利益						827
連結範囲の変動						△130
自己株式の取得						△274
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△2	35	23	57	62	119
当期変動額合計	△2	35	23	57	62	273
当期末残高	45	△17	33	62	62	13,544

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,571	3,384	8,885	△421	13,419
当期変動額					
剰余金の配当			△324		△324
親会社株主に帰属する 当期純利益			686		686
自己株式の取得				△148	△148
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	362	△148	214
当期末残高	1,571	3,384	9,248	△570	13,634

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	45	△17	33	62	62	13,544
当期変動額						
剰余金の配当						△324
親会社株主に帰属する 当期純利益						686
自己株式の取得						△148
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△2	△8	△6	△17	△10	△27
当期変動額合計	△2	△8	△6	△17	△10	186
当期末残高	43	△25	26	44	52	13,731

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,283	1,197
減価償却費	605	589
減損損失	173	152
のれん償却額	37	55
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
事業損失引当金の増減額 (△は減少)	—	3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2	△87
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	24	37
賞与引当金の増減額 (△は減少)	83	17
受取利息及び受取配当金	△4	△8
支払利息	51	41
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△4
固定資産除売却損益 (△は益)	△14	△0
災害損失	103	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△342	38
たな卸資産の増減額 (△は増加)	55	21
仕入債務の増減額 (△は減少)	15	△103
未払金の増減額 (△は減少)	320	△36
未払又は未収消費税等の増減額	△15	△7
その他	122	81
小計	2,499	1,987
利息及び配当金の受取額	4	7
利息の支払額	△51	△40
法人税等の支払額	△696	△445
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,755	1,508

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△66
投資有価証券の売却による収入	—	6
子会社出資金の取得による支出	△110	—
吸収分割による支出	△647	—
固定資産の取得による支出	△794	△734
固定資産の売却による収入	55	0
敷金及び保証金の差入による支出	△171	△135
敷金及び保証金の回収による収入	492	414
保険積立金の積立による支出	△21	△21
貸付けによる支出	—	△13
その他	△97	△94
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,294</b>	<b>△644</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	3,600	4,400
長期借入金の返済による支出	△3,876	△4,072
割賦債務の返済による支出	△2	△2
リース債務の返済による支出	△0	—
自己株式の取得による支出	△274	△148
配当金の支払額	△267	△324
非支配株主からの払込みによる収入	52	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	1	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△768</b>	<b>△147</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△5
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△309</b>	<b>709</b>
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	90	—
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>7,895</b>	<b>7,677</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>7,677</b>	<b>8,387</b>

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に宝飾品の製造販売、眼鏡の製造販売及び食品販売・飲食店事業を営んでおります。したがって、当社は「宝飾品」、「眼鏡」及び「食品販売・飲食店事業」を報告セグメントとしております。

なお、前連結会計年度の報告セグメントの区分については、当連結会計年度の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	29,758	2,018	909	32,686	—	32,686
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	29,758	2,018	909	32,686	—	32,686
セグメント利益又は損失(△)	1,579	112	△156	1,535	9	1,545
セグメント資産	32,163	1,064	873	34,100	△959	33,141
セグメント負債	19,019	576	1,008	20,604	△1,007	19,597
その他の項目						
減価償却費	521	67	16	605	—	605
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	462	168	74	704	—	704

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額9百万円は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額△959百万円及びセグメント負債の調整額△1,007百万円は、セグメント間債権債務消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	28,674	2,079	1,751	32,504	—	32,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	28,674	2,079	1,751	32,504	—	32,504
セグメント利益又は損失(△)	1,724	71	△433	1,362	7	1,370
セグメント資産	33,144	1,208	1,085	35,438	△1,768	33,670
セグメント負債	19,594	411	1,703	21,709	△1,769	19,939
その他の項目						
減価償却費	482	66	40	589	—	589
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	398	110	241	749	—	749

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額7百万円は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額△1,768百万円及びセグメント負債の調整額△1,769百万円は、セグメント間債権債務消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

(1株当たり情報)

区分	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,247円56銭	1,287円06銭
1株当たり当期純利益金額	75円49銭	64円49銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	13,544	13,731
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	62	52
(うち非支配株主持分(百万円))	(62)	(52)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	13,481	13,678
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	10,806	10,627

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	827	686
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	827	686
期中平均株式数(千株)	10,955	10,651